

本庁舎実施設計について



総務部本庁舎整備推進室

基本設計からの変更点について

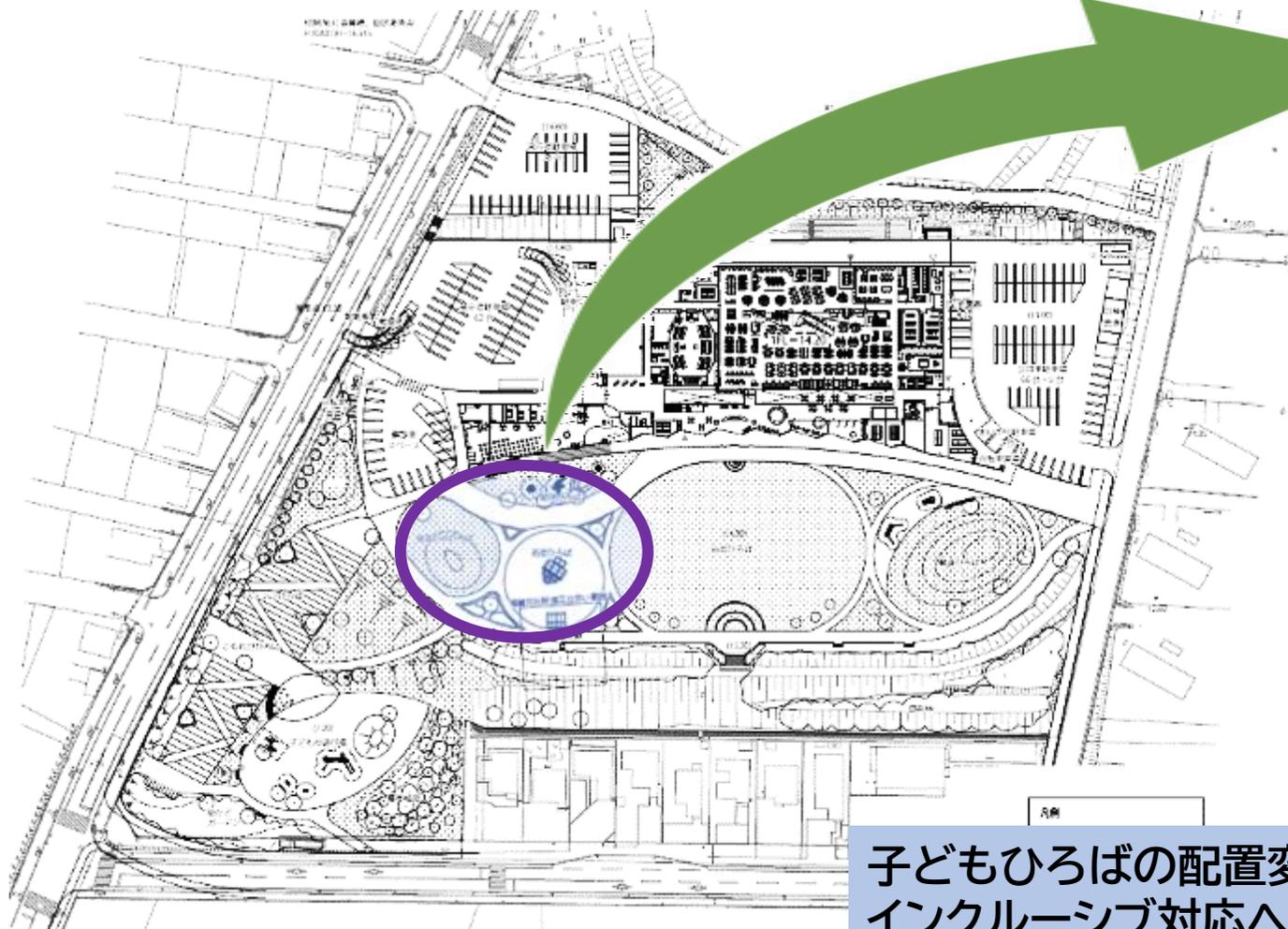


配置計画について(外構)

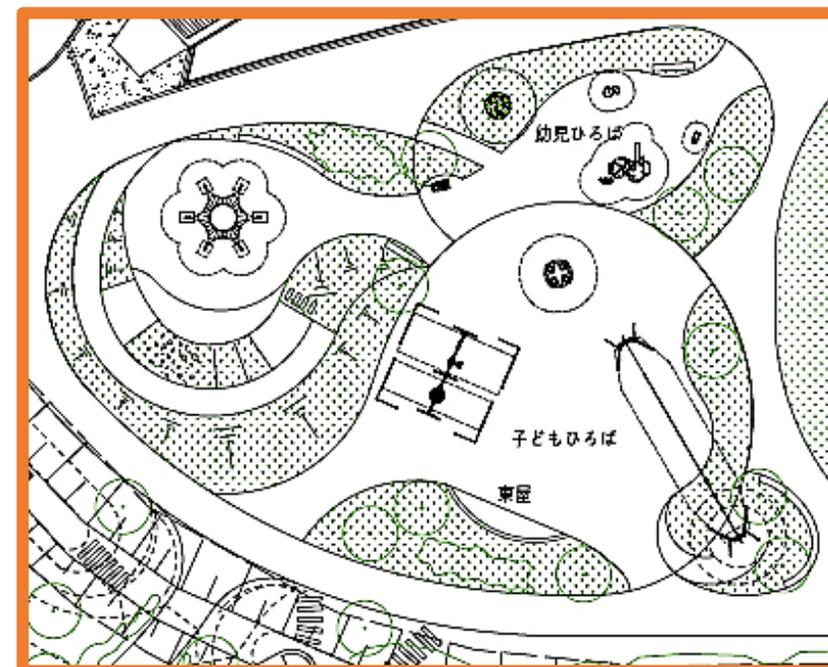


基本設計⇒実施設計

幼児・子どもひろばを集約し
インクルーシブへ対応

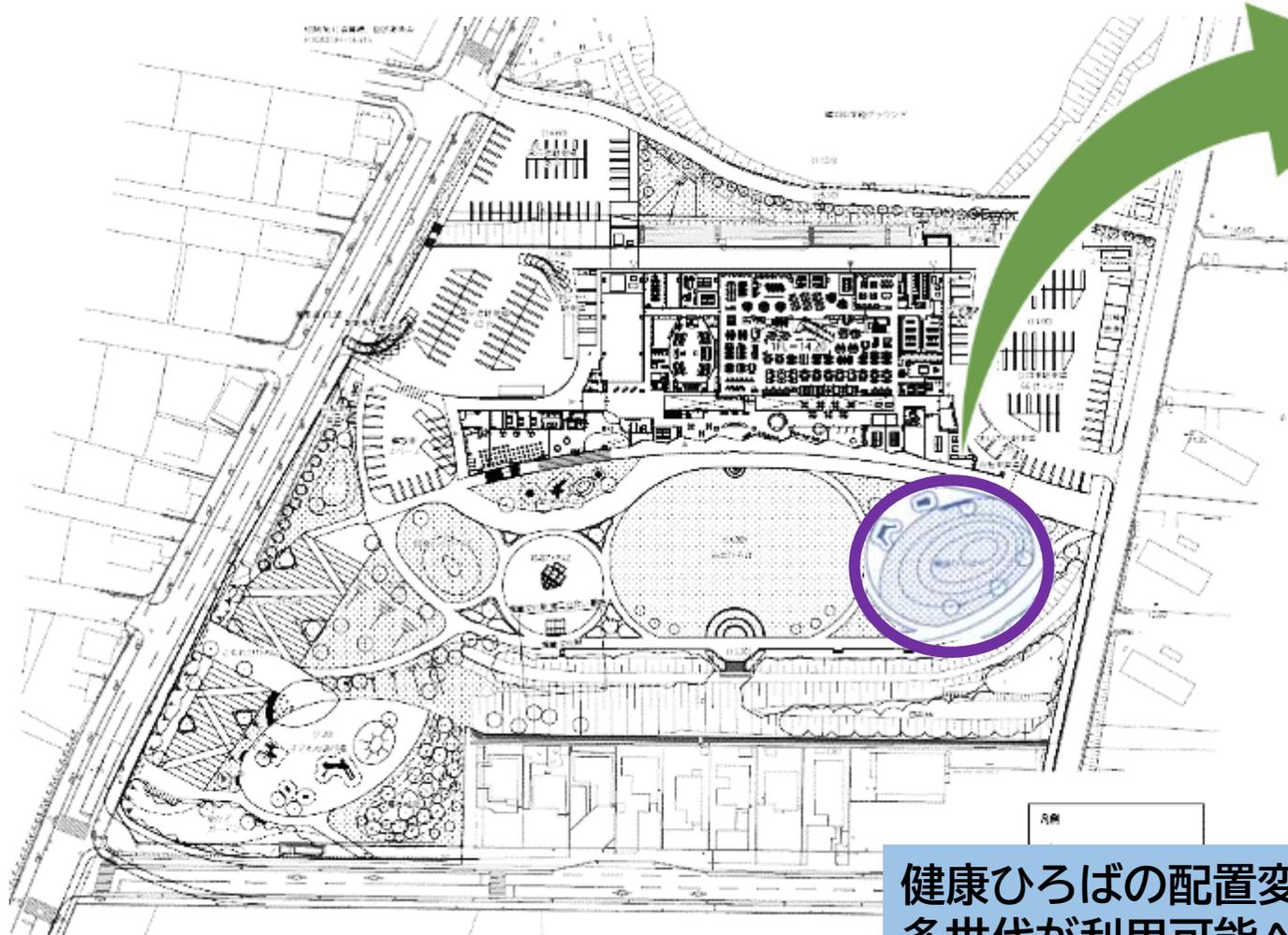


子どもひろばの配置変更し
インクルーシブ対応へ



基本設計⇒実施設計

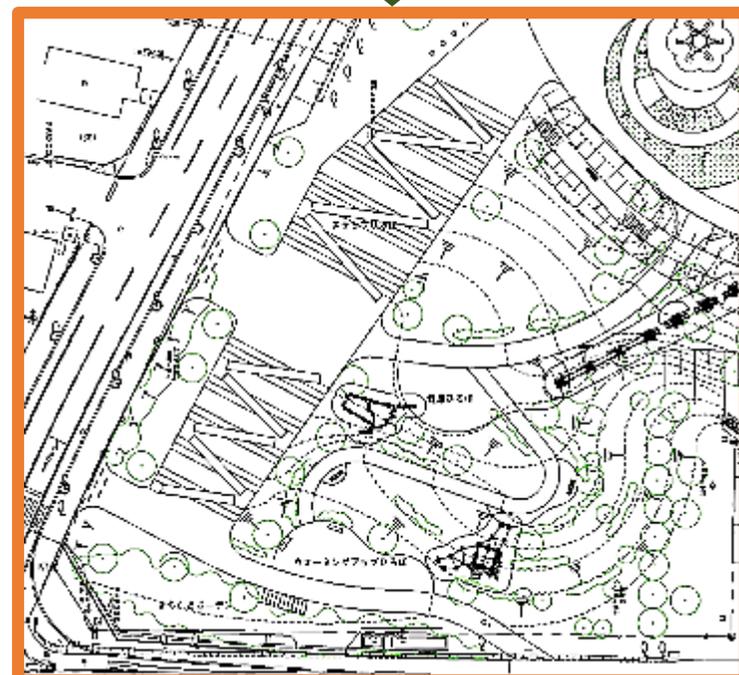
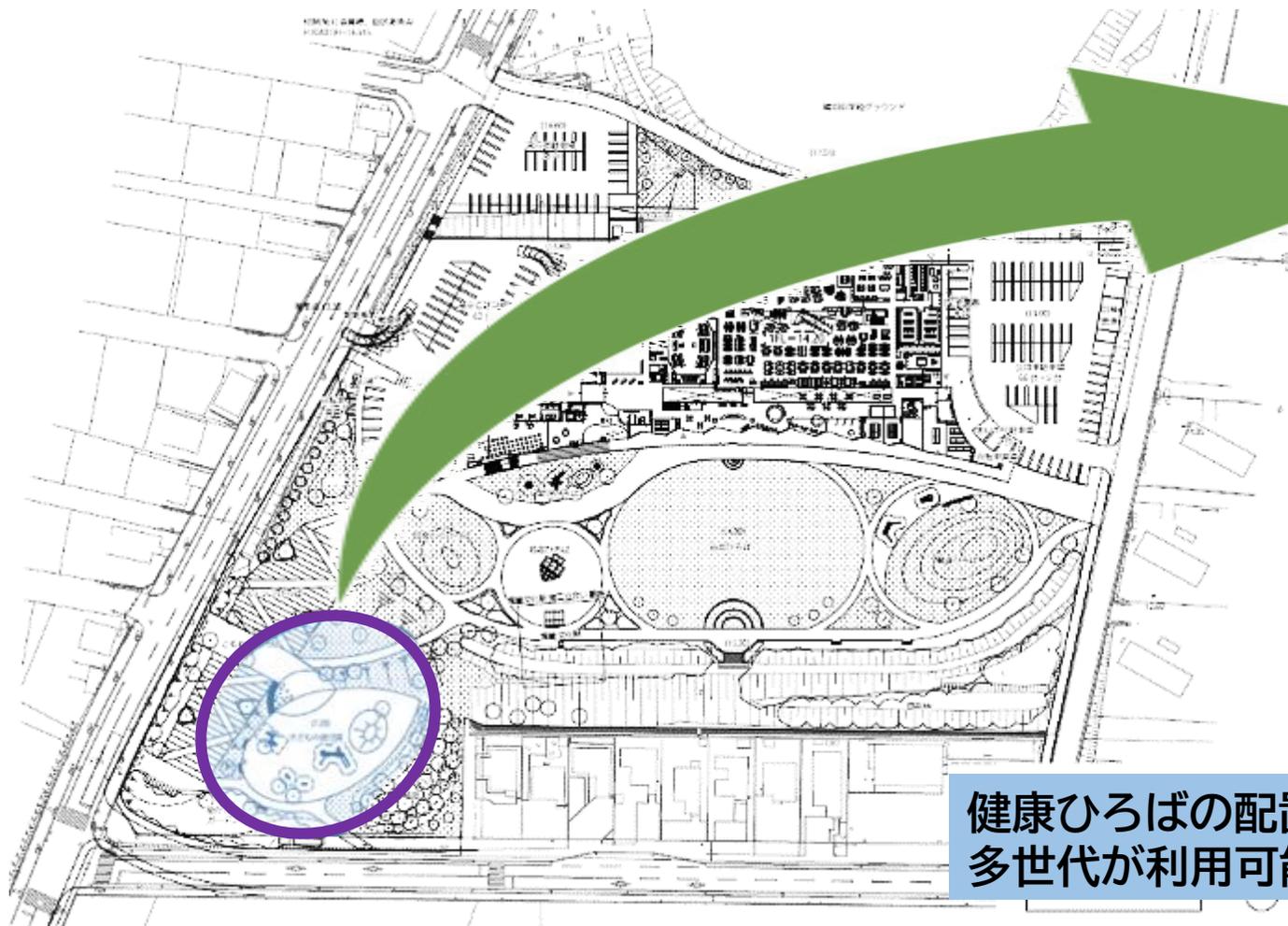
健康ひろばをストリート
スポーツひろば



健康ひろばの配置変更し
多世代が利用可能へ

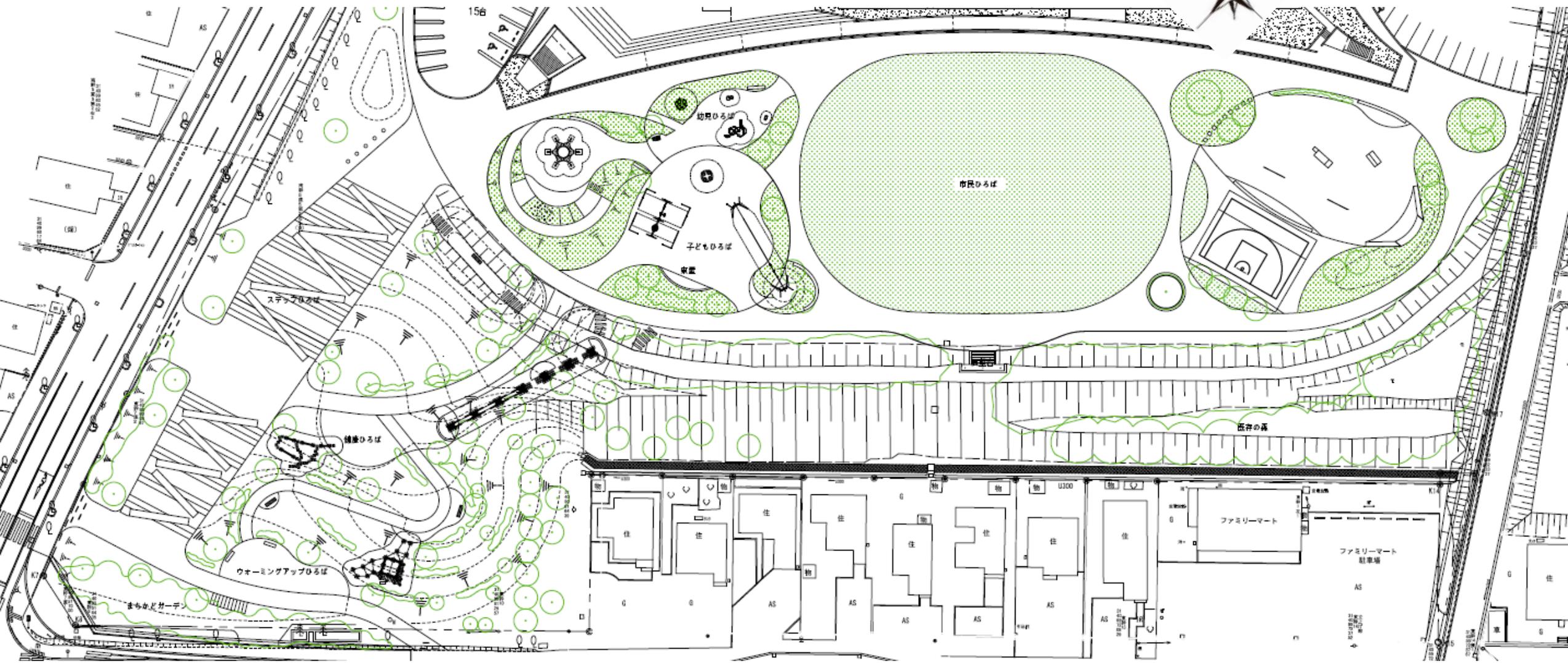
基本設計⇒実施設計

こどものひろばを健康
ひろば



健康ひろばの配置変更し
多世代が利用可能へ

実施設計(外構)



平面計画について(建物内)



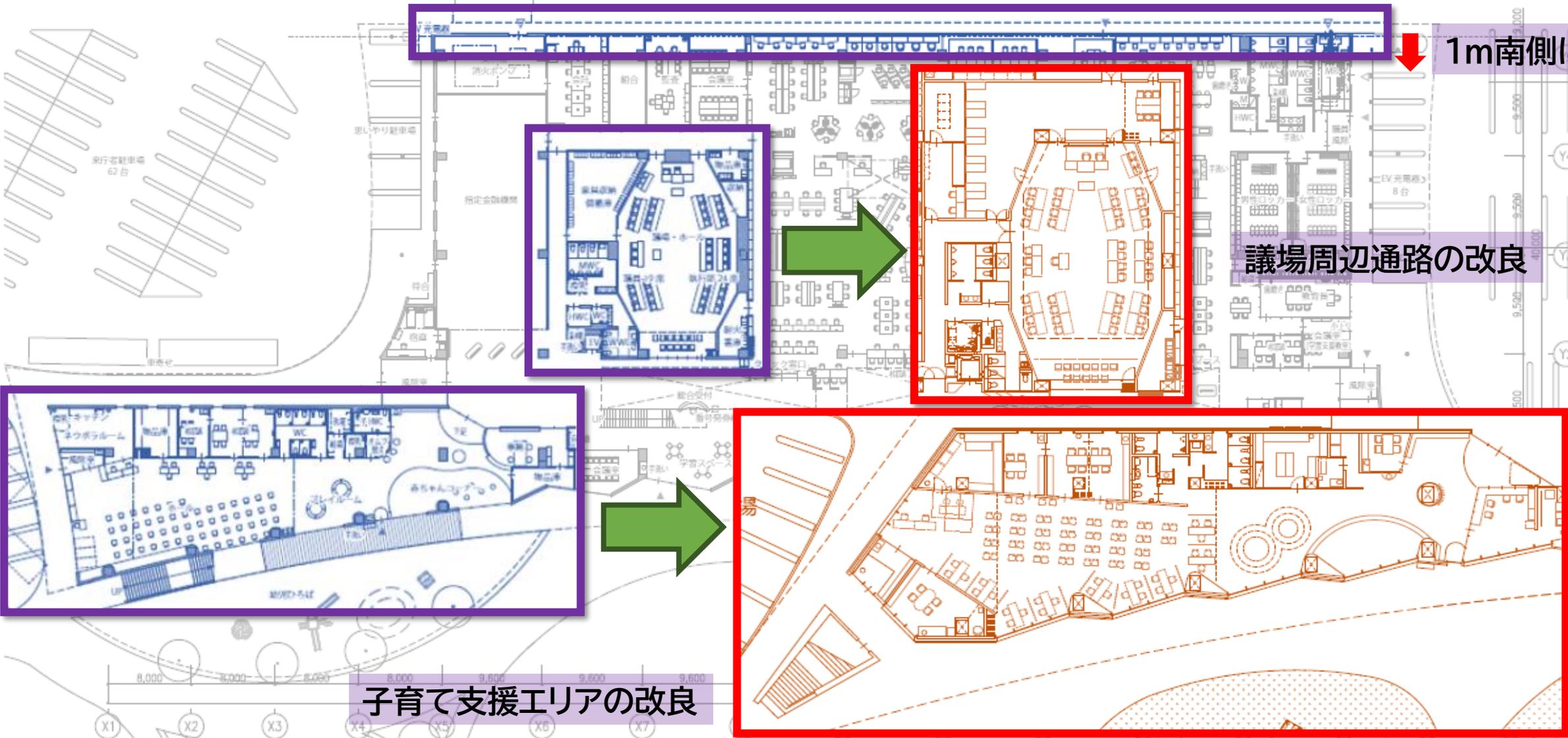
基本設計⇒実施設計(1階平面図)

外壁の位置を見直し面積削減

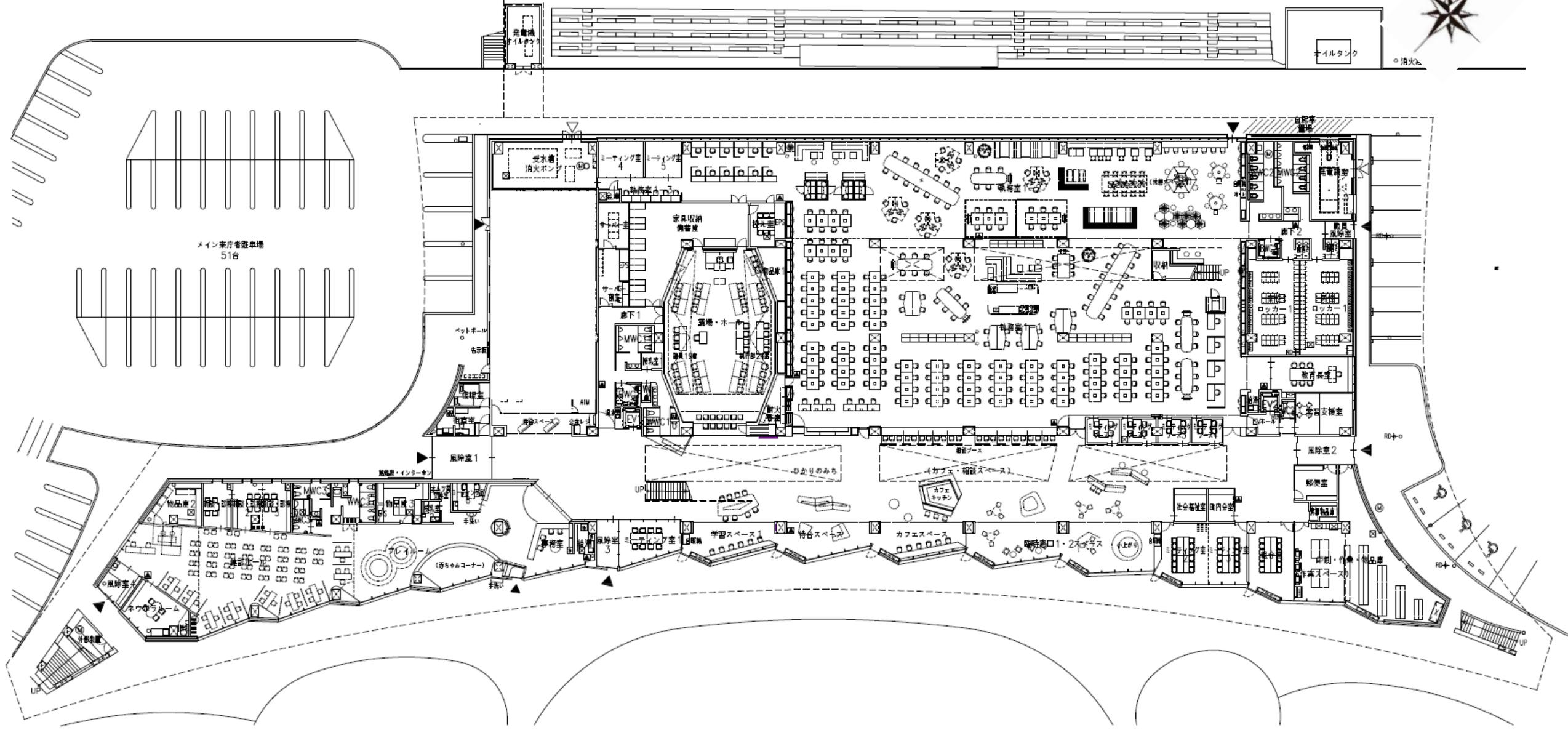
1m南側に

議場周辺通路の改良

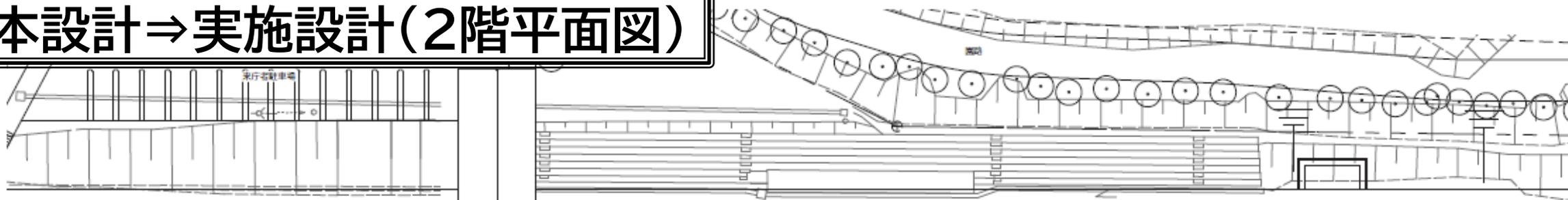
子育て支援エリアの改良



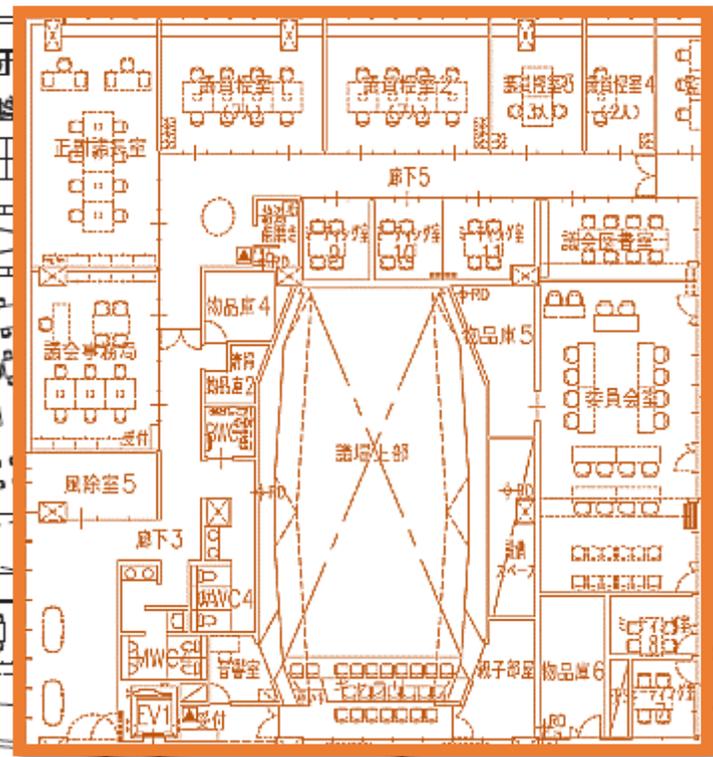
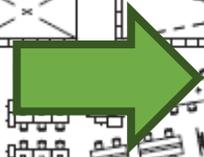
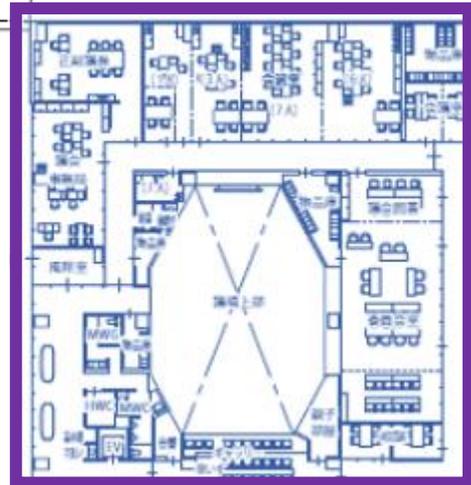
実施設計・1階平面図



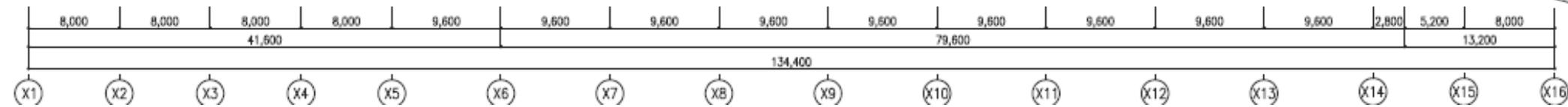
基本設計⇒実施設計(2階平面図)



正副議長室等の配置



委員会室・親子部屋等の配置



外観・内観イメージについて

外観イメージ図

1



2



1

中学校通りから正面玄関



2

「市民ひろば」と「学習スペース庇」

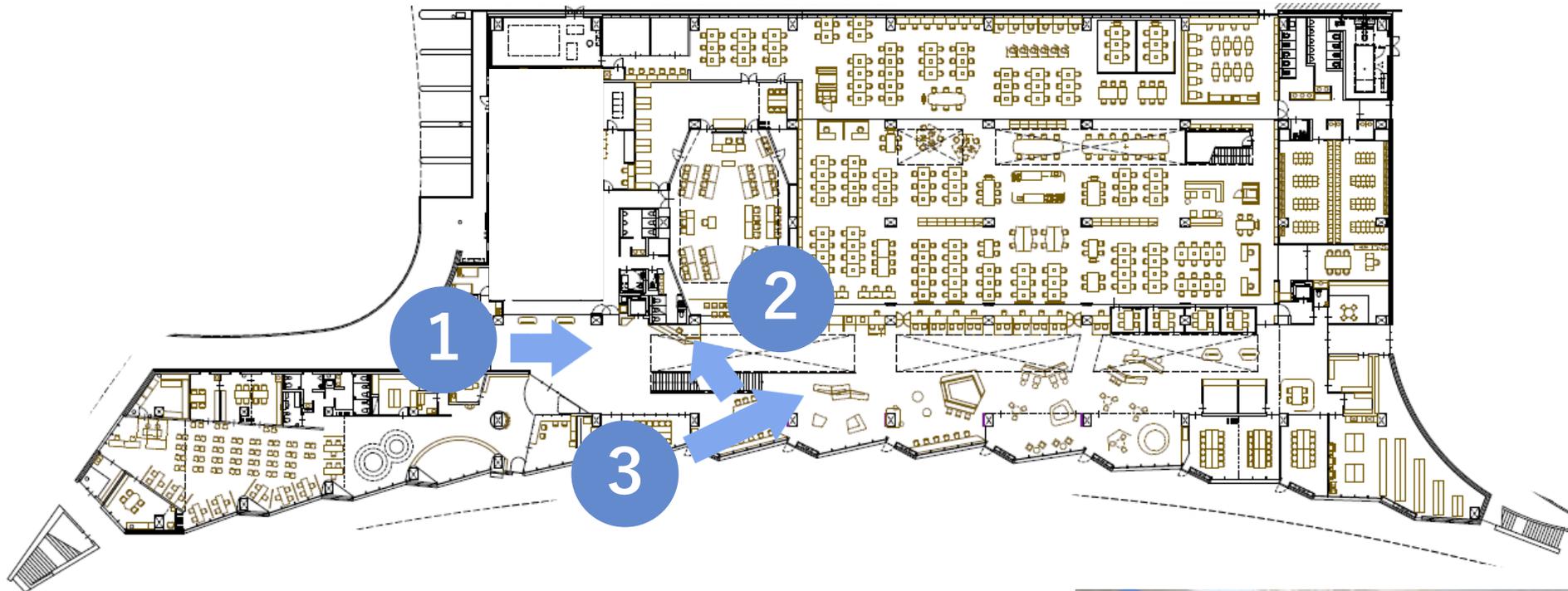
外観イメージ図



「展望スペース」と「屋上テラス」



「展望ギャラリー」



1階エレベーターホール



1階総合受付

3

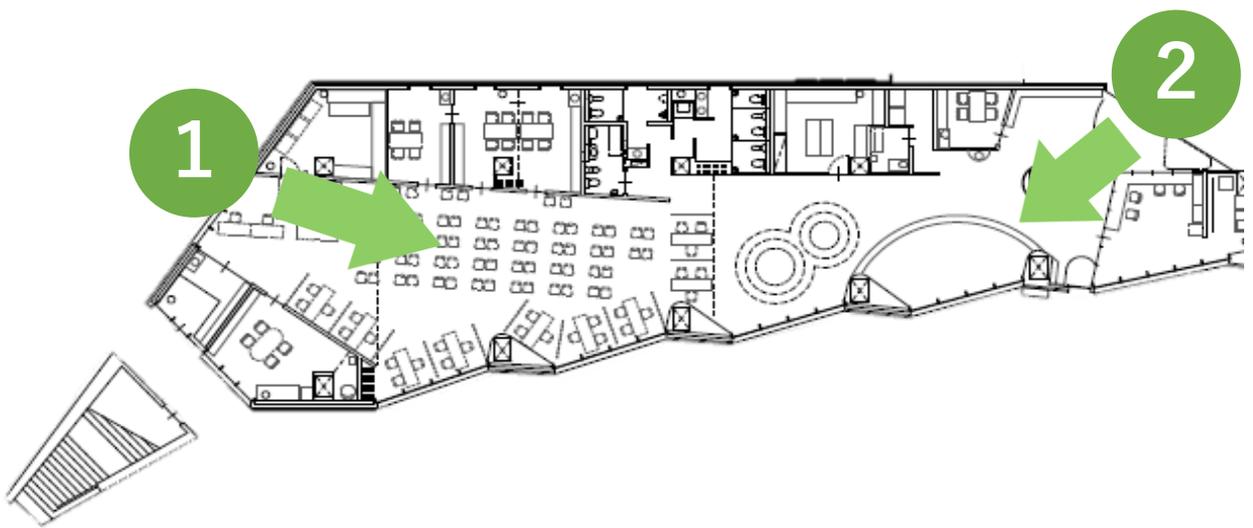


2階ミーティングラウンジ





1階子育てエリア

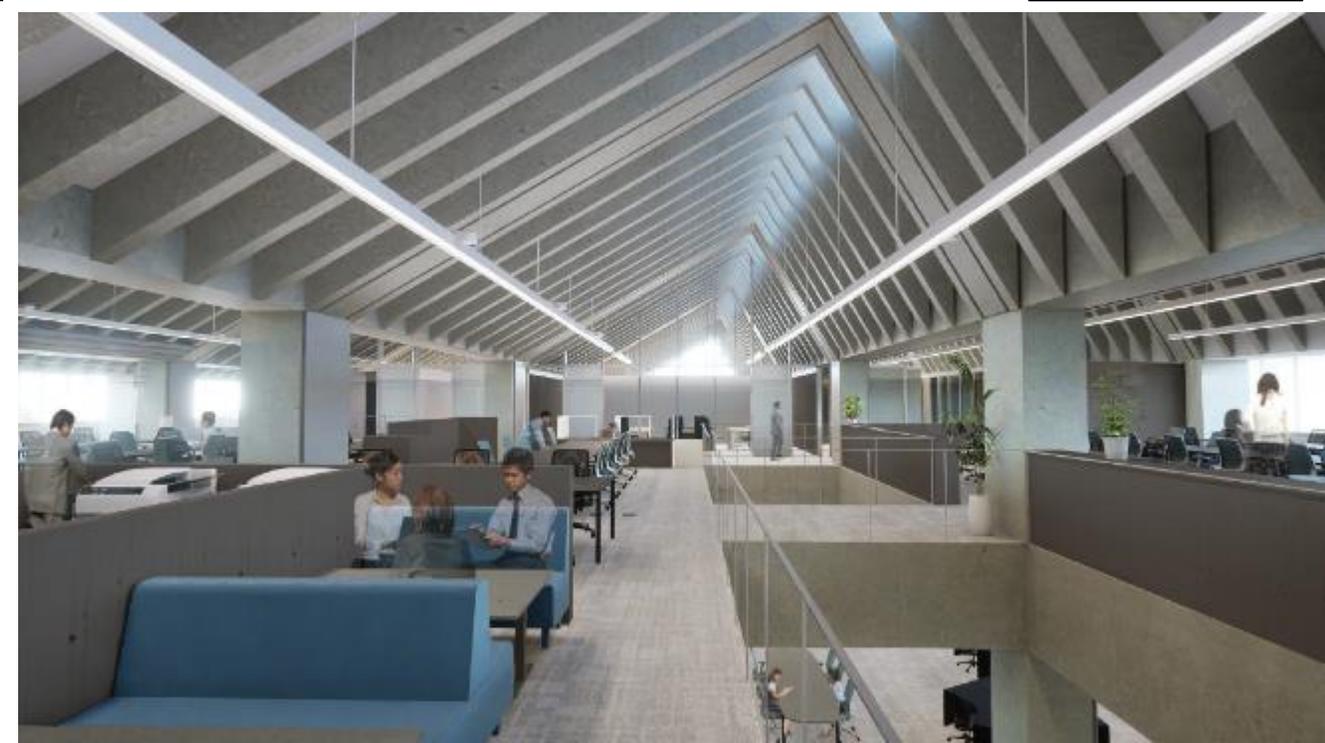




1階執務室



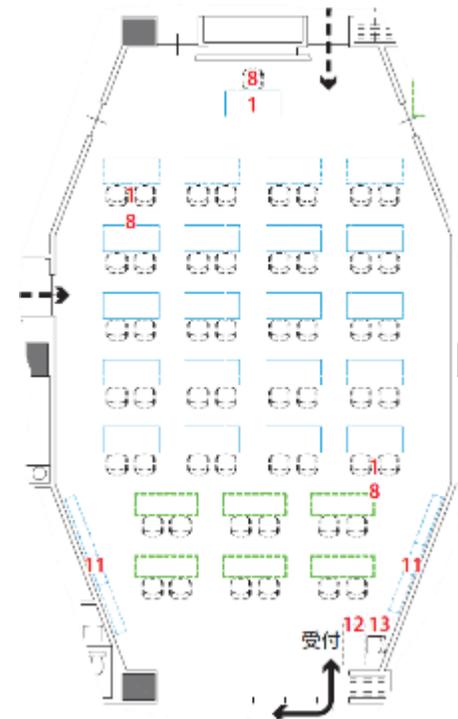
2階執務室



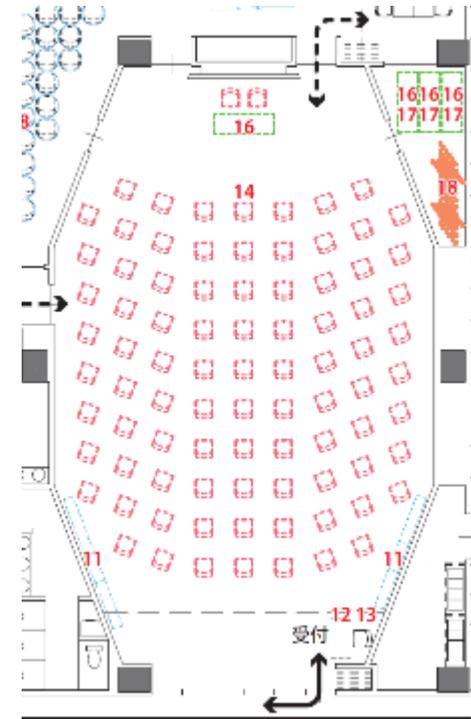
議会・ホール関連について



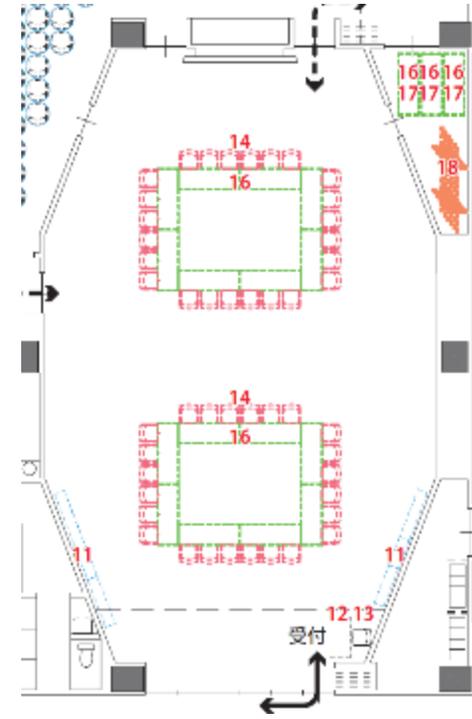
議会・ホールの多彩な運用例



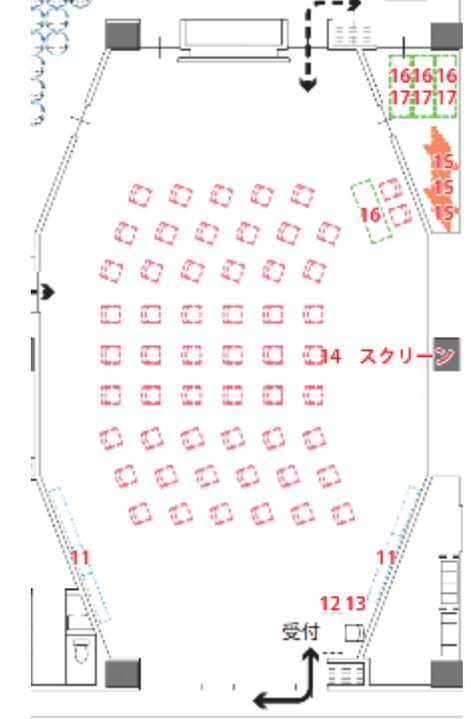
スクールタイプ
52席



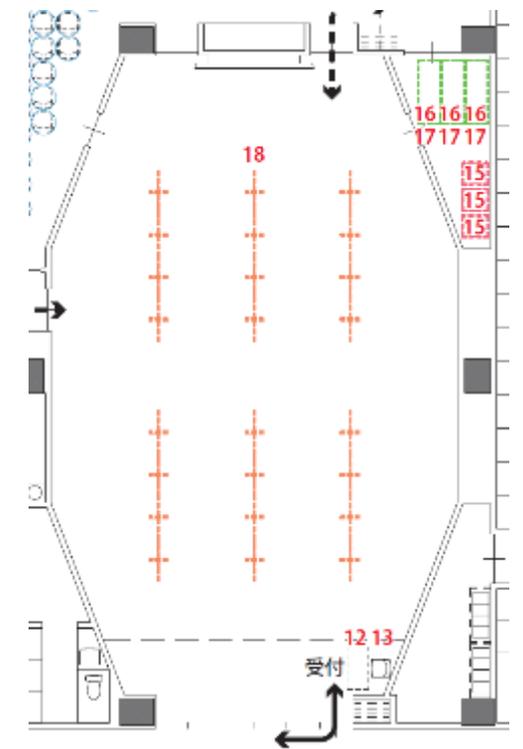
講演タイプ
86席



会議タイプ
48席



講義タイプ
53席



展示タイプ

◎主な機器等の概要

- 1 液晶プロジェクター
- 2 150型電動スクリーン
- 3 ワイヤレスマイク
- 4 2階ギャラリー・親子部屋にモニターを採用

防災機能について

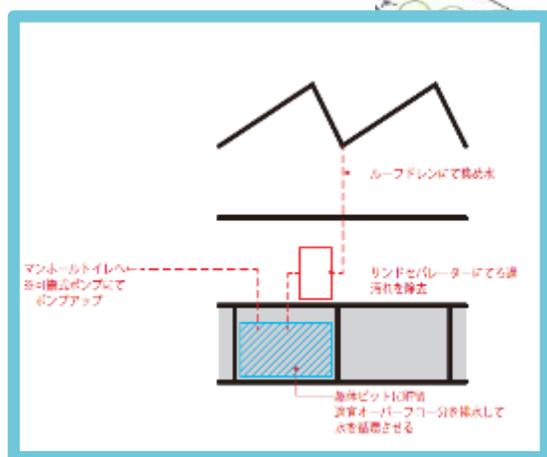


防災機能について(外構)

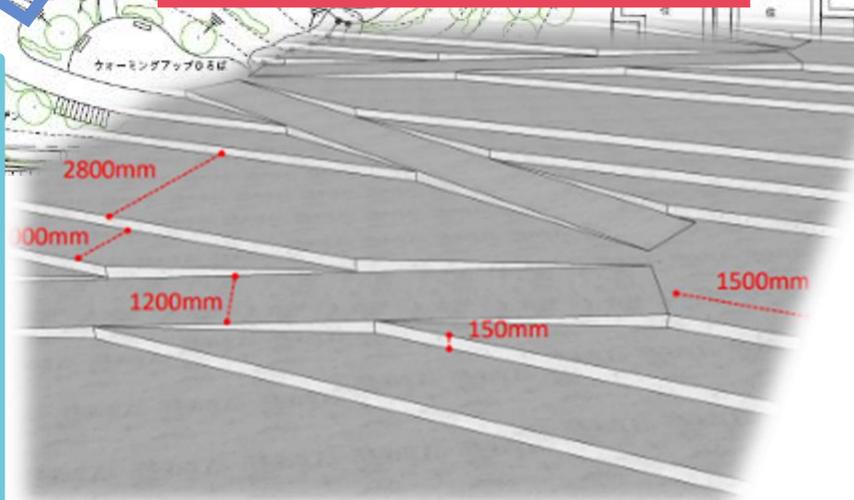
マンホールトイレ



雨水利用



ステップ広場⇒避難路



園路⇒災害支援車両

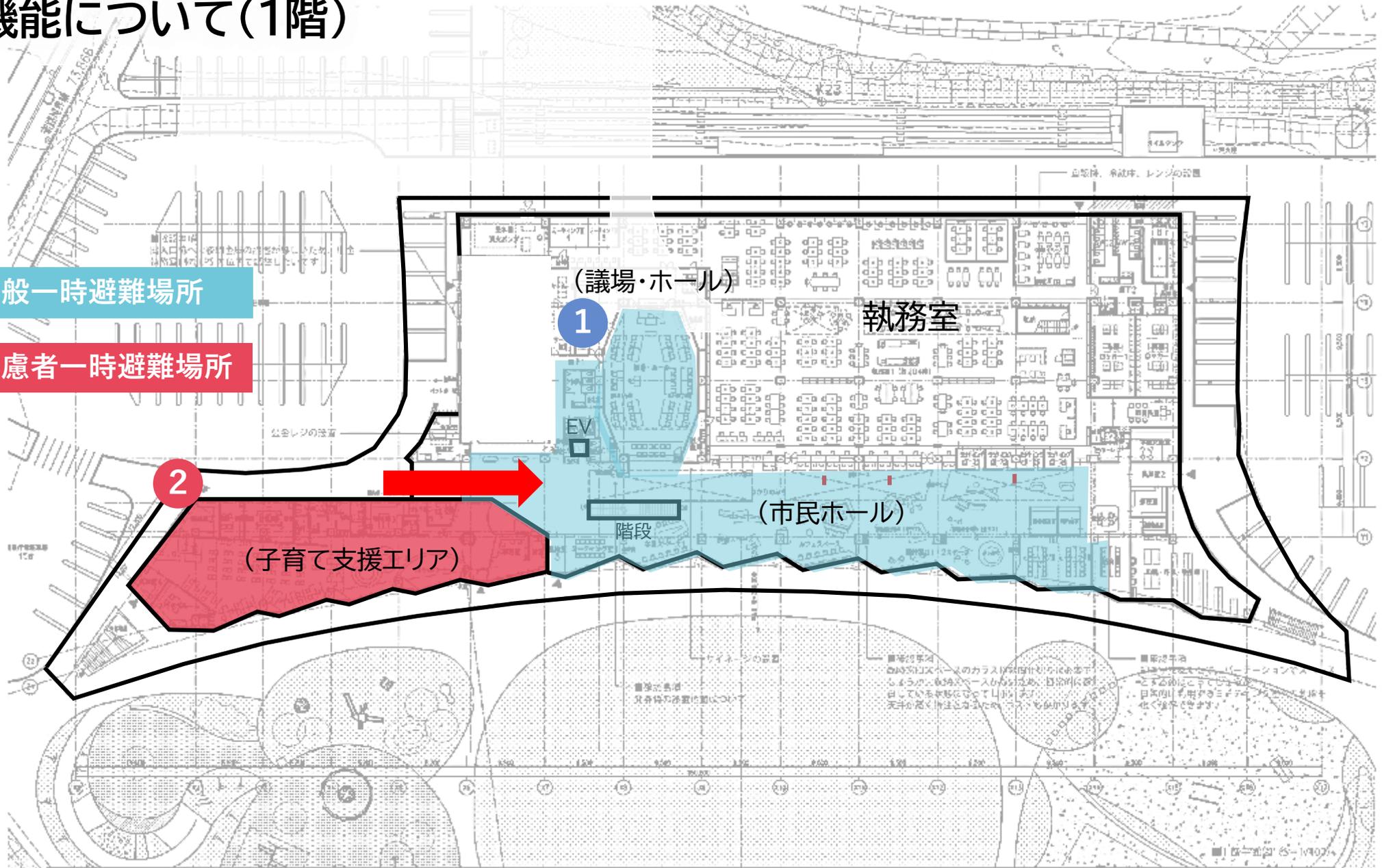


市民ひろば⇒高台避難場所



防災機能について(1階)

- 1 一般一時避難場所
- 2 要配慮者一時避難場所



面積について



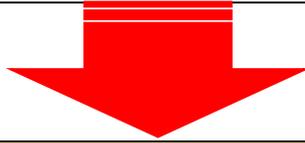
各エリアの床面積

		現庁舎※1	基本設計	増減※2	実施設計	増減※2
床面積計		7,144㎡	7,120㎡	-24㎡	6,991㎡	-153㎡
内 訳	執務エリア(共用部含む。)		6,270㎡		6,120㎡	
	金融機関		240㎡		266㎡	
	子育て支援エリア		550㎡		551㎡	
	その他諸室(社協窓口等)		60㎡		54㎡	

※1 現庁舎には本庁舎及び第2庁舎のほか、市民会館、しんた21及びアーニスの執務室分を含む。

※2 増減はいずれも現庁舎の面積との比較

執務エリアにフリーアドレスを採用することでコンパクト化
 ペーパーレス化による書庫の削減
 各エリアは、可能な限り個室化をせず大空間の平面計画による廊下等の最小限化
 各グループの専用窓口を共用窓口化し、ワンストップサービス窓口による市民サービス向上とコンパクトな窓口
 ひかりのみち・学習スペース・カフェスペース・ミーティングラウンジ等の市民利用部分は、ゆとりある空間を実現



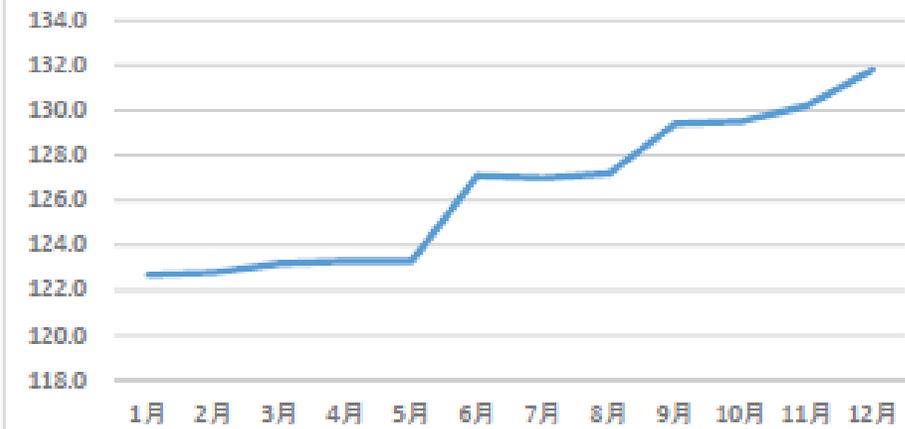
現庁舎面積7,144㎡、実施設計で床面積6,991㎡より約153㎡面積縮小を実現しました。
 これにより庁舎機能を損なわずに、約127,809千円の建設費削減をしました。

事業費について



建設工事費の推移について

2023年における上昇傾向



建設費(2015年を100ポイントとした場合)

基本設計概算費策定時 2022年12月122.5ポイント
 実施設計工事費積算時 2023年12月131.8ポイント

※1年間で+9.3ポイント上昇

緊急防災・減災事業債の単価(円/㎡)

基本計画改定版策定時 361,000円
 基本設計概算費策定時 422,000円
 実施設計工事費積算時 468,000円

※令和5年12月改定。基本設計時より約10.9%上昇

□直近1年における上昇傾向グラフ

2023年	12月	121.9	122.5	126.6	112.3
	1月	121.9	122.7	126.6	112.8
	2月	122.1	122.8	126.7	112.9
	3月	122.4	123.2	127.0	113.6
	4月	122.7	123.3	127.1	113.7
	5月	122.6	123.3	127.0	113.8
	6月	126.2	127.1	131.2	116.7
	7月	126.2	127.0	131.1	116.7
	8月	126.3	127.2	131.1	117.3
	9月	128.5	129.4	133.3	119.7
	10月	128.6	129.5	133.2	120.1
	11月	P 129.2	P 130.2	P 133.2	P 122.6
	12月	P 130.7	F 131.8	P 135.1	P 123.3

道内自治体の庁舎建設費

令和元年 A自治体 513,487円/㎡
 B自治体 618,157円/㎡
 2年 C自治体 570,306円/㎡
 D自治体 699,588円/㎡
 3年 E自治体 578,475円/㎡
 4年 F自治体 587,376円/㎡
 G自治体 844,000円/㎡
 5年 H自治体 740,801円/㎡
 I自治体 892,785円/㎡

階数や構造形式などに関わらず建設費が上昇傾向

事業費について

※太陽光発電設備は除く。
 ※金額の単位は千円。

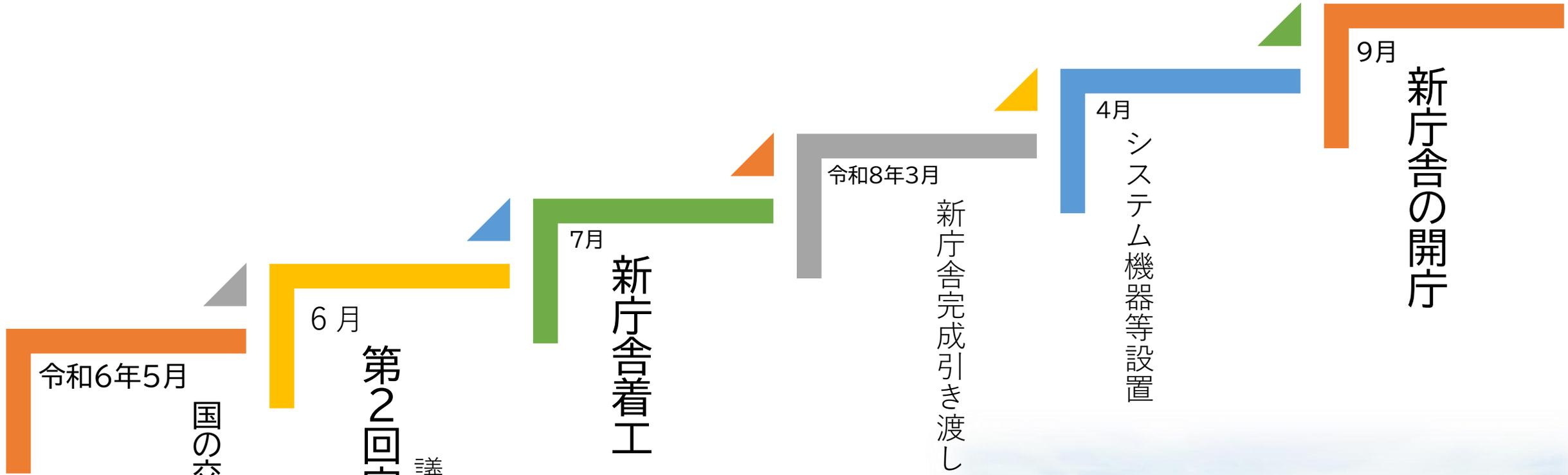
		基本設計	実施設計	備考
床面積		7,120㎡	6,991㎡	-129㎡
事業費		6,828,431	7,975,982	+1,147,551
事業費の内訳	庁舎建設費	5,081,010	5,877,785	+796,775
	(庁舎建設㎡単価)	(709,076円/㎡)	(835,359円/㎡)	+126,283円/㎡
	外構工事費(概算額)	770,407	954,960	+184,553
	設計・監理・移転費等(概算額)	977,014	1,075,237	+98,223
	電波障害対策(概算額)		68,000	+68,000
財源	緊急防災・減災事業債	4,111,200	4,939,500	+828,300
	国・道の補助制度	725,460	861,185	+135,725
	その他の起債	942,900	1,088,100	+145,200
	一般財源	1,048,871	1,087,197	+38,326
最終的な市の負担額		3,172,611	3,569,797	+397,186
市の負担割合		46.5%	44.8%	-1.7%

事業費が約11.5億円増額し、一般財源は約3,800万円の増額となりますが、総事業費に占める市負担割合は1.7%減少しました。
 一般財源の約10.8億円については、庁舎整備基金等を活用より確保できる見通しです。

来年度以降のスケジュールについて



今後の主なスケジュール



第4回中央地区まちづくり協議会

中央地区のまちづくり2024



登別市総務部本庁舎整備推進グループ

コンセプトの決定

『観光とまち

つながる つなげる 人と人

ホッとするまちづくり』

<コンセプトに込められた想い>

「観光とまち、人と人がつながり、つなげていくことで、人が集まり知恵を出し合い、にぎわい溢れるまちを皆で創り上げ、さらに、そのすばらしいまちを次の世代へとつなげていきたい。また、どの世代の人でもホッとできる目的がなくても行きたくなるようなまち、一度登別を離れても戻ってきたくなるまち、そのような魅力ある温かい(ホッとする)まちになってほしい」

WGにおける協議事項について

中央地区の活性化に向けた取組

- ①現庁舎、アーニス周辺環境整備
- ②中心地にある商業施設の活性化
- ③現庁舎跡地の具体的な利活用方法

先行して協議を実施

令和5年9月以降の協議状況について①

協議内容

第7回ワーキンググループ
(令和5年9月13日)

- 協議事項②の協議(中心地にある商業施設の活性化のためは何か必要かなどを協議)
 - ・市内のまちづくり団体に所属している方から本協議会の委員に対して提言書(図書館とそれ以外の施設からなる複合施設を設置し、そこを中心としたまちづくりを目指す案など)も参考に協議を行う。
 - ・図書館のほか、カフェスペース、キッズスペース、イベントスペース、コワーキングスペースなどの意見もあった。

第8回ワーキンググループ
(令和5年10月17日)

- 協議事項①②の協議(①中央地区の環境整備として何か必要かなどを協議、②中心地にある商業施設の活性化のためは何か必要かなどを協議)
 - <協議事項①>
 - ・空き店舗が減るように市が助成などを行う
 - ・子どもが遊ぶ施設を設置 など
 - <協議事項②>
 - ～良い点～
 - ・図書館には集客力があるので、アーニスやその周辺店舗での集客も見込める
 - ・駐車スペースの確保、読書の合間に飲食ができる
 - ～課題点～
 - ・商業施設の音楽が図書館にふさわしくない(図書館は静かな空間のほうがいい)
 - ・新しい店舗の誘致などが制限される可能性がある

令和5年9月以降の協議状況について②

協議内容

第9回ワーキンググループ
(令和5年12月19日)

■協議事項②の協議(中心地にある商業施設の活性化のためは何か必要かなどを協議)

<図書館長>

「図書館の機能と役割」というテーマで、「図書館とはどんな施設なのか」、「図書館の3要素から」、「最近の図書館に求められているもの」、「登別市立図書館めざすもの」の4項目について講演を実施。

<図書館協議会委員>

図書館本館をアーニスに移転した場合の良い点・課題点について説明。

～良い点～

- ・職員が本を運搬する際の労力軽減
- ・駐車場のスペース確保
- ・ゆったりとした配架が可能
- ・図書館が目指すべき「サードプレイス」としての位置付けが可能

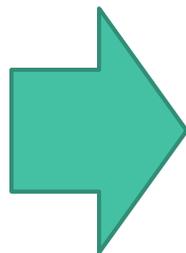
～課題点～

- ・十分な面積が確保できるかどうか
- ・アーニスの耐震性能と耐過重
- ・アーニスのバリアフリー化

図書館本館の移転に伴う課題点について

課題点

- 十分な面積の確保
- アーニスの耐震性能、耐荷重
- アーニスのバリアフリー化



課題に対する対応策

現在の図書館本館とアーニス分館の合計面積よりも広いスペースを確保。

アーニスはH6年竣工で新耐震基準であり、旧耐震基準の図書館本館より耐震性能は優れている。また、積載荷重は図書館本館が上回っているが、配架しだいで機能移転は可能。

バリアフリー化に向けた改修を行うことで解消は可能。

今後のスケジュール(案)

	令和5 (2023) 年												令和6 (2024) 年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会			状況報告(文書)	●		協議会開催	●	中央地区のまちづくりに関する協議事項の決定				協議会開催	●	提言書の取りまとめ	
WG			コンセプト協議			コンセプト決定				中央地区のまちづくりに関する協議事項にかかる具体的な協議					
学生委員会		意見聴取								委員会開催	●	委員会開催	●		
市議会						情報提供	●		情報提供	●		情報提供	●		
市	準備・検討・情報提供等										サウンディング調査				提言